

次世代の社内SNS

ノウハウ共有

ワークライフバランス

社員の定着

社内コミュニケーション

nanoty

社員のモチベーションアップ

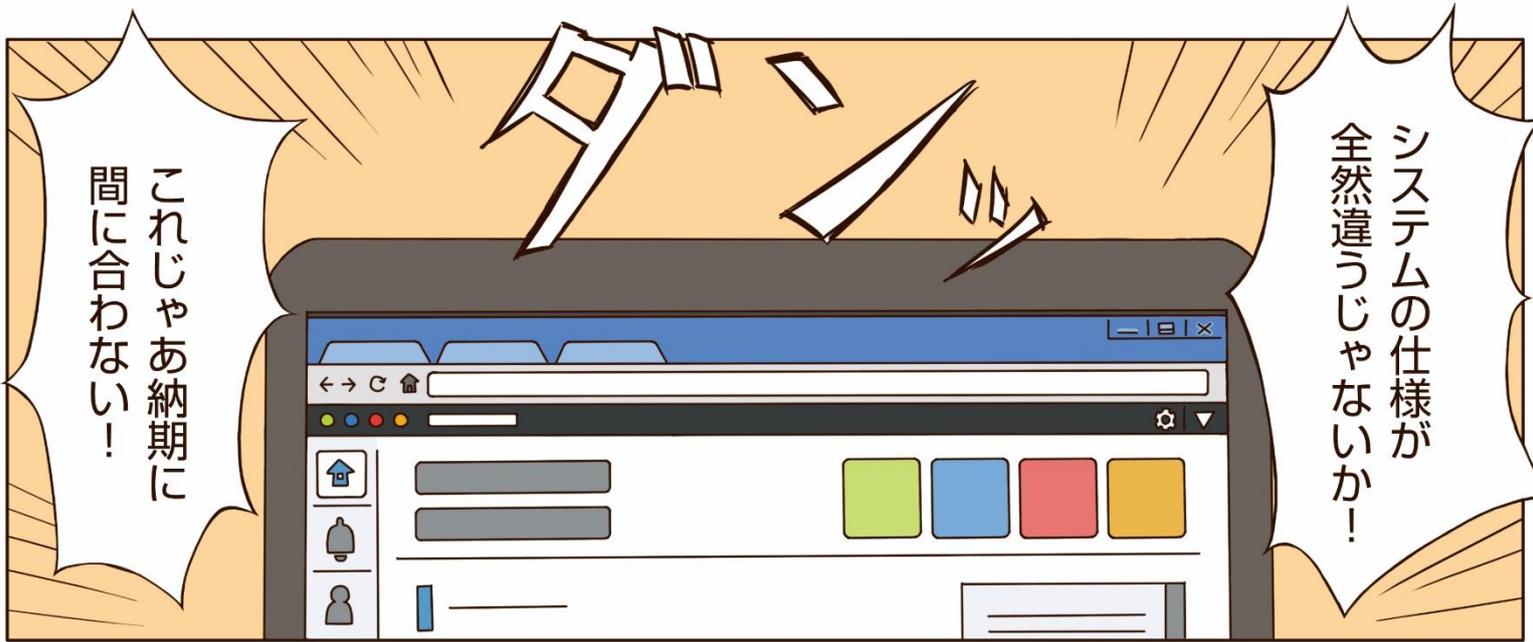
行動管理で徹底分析 失敗しないオフショア開発

特集

オフショア開発の失敗を教訓に！
nanotyを使った開発先とのコミュニケーション&開発者管理！！

サービススタートキャンペーン実施中！





システムの仕様が
全然違うじゃないか！

これじゃあ納期に
間に合わない！



向こうは何て
言ってるんだ！



開発先のプロマネに
任せていたのですが…



依頼された通り
に作ったと…

……

オフショア開発の **課題** を nanoty が **解決** する！！



冒頭の漫画のように、オフショア開発で製品やサービスを構築し、こちらが想定していた製品・サービスと異なる仕様のもので出来上がってきたという経験はございませんでしょうか。オフショア開発が進む昨今、これ以外にも様々な課題が出てきております。

3つの大きな課題



1. コミュニケーションの問題

オフショア開発におけるコミュニケーションは、国内での開発に比べると、どうしても密度や質が落ちてしまいます。文化的な違いから、教育、育った環境などの背景が異なる人間と話すのですから、同じ日本語で話しても細かいニュアンスやコミュニケーションの流儀が違う場合もあります。プロジェクト内で接点を多く持ち、コミュニケーションを図れるようにすることが重要となります。

2. 要件や仕様の認識の相違

日本に限らずソフトウェア開発の世界では、暫定仕様のまま、プロジェクトをスタートさせ、走りながら仕様を確定させていく場合が少なくありません。日本での国内外注の場合、発注側の要求仕様書に多少の記述不足があっても、受注側のシステム開発会社が仕様書の行間を読んで埋めることが当然のように行われますが、オフショア開発においてはそうはいきません。仕様を細かく追っていきける環境を作っていくことで、認識の相違を防いでいくことができます。



3.見えない制作の様子



オフショア開発を利用すると、物理的に距離が離れるため、進捗が見えなくなりがちです。それをどのように回避するのがオフショア開発の成功を大きく分けます。プロジェクト管理ツールで進捗を確認するだけでなく、どの作業にどれぐらいの時間をかけていくのか日本でもきちんと管理していく必要があります。

御紹介したのがオフショア開発が失敗する要因とも言える3点の課題です。

これまでのオフショア開発では、現地開発担当者とのシステム仕様における認識がずれのまま開発が進行し、期待するシステムが完成しなかったり、開発状況などを細かく管理できずに無駄な工数が生じてしまったりするなど、「コミュニケーション」と「工数管理」は、何らかの情報共有ツールを用いても課題として残っていました。

これらを解決するためにはオフショア開発会社側だけでなく、発注する日本企業側の歩み寄りも必要となります。

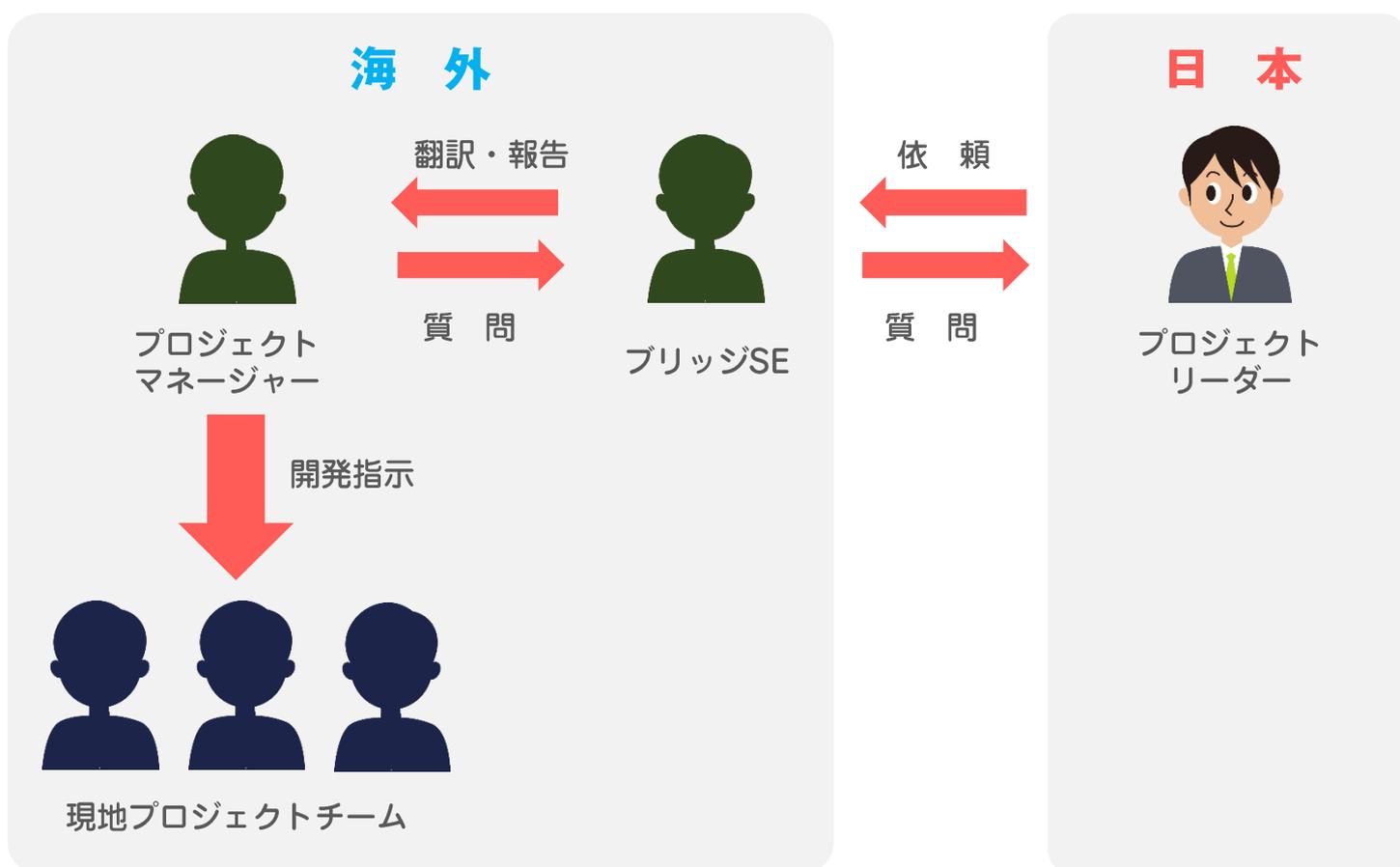
ナノティ 課題解決のカギはnanoty



nanotyは各開発担当者の毎日の日報から、日次レベルでの進捗状況を共有できるとともに、開発工数も共有できるため、制作にかかった工数を日次、週次、月次レベルで集計を取ることできます。そのため、制作のスケジュール確認はもちろん、上流設計不良等の詰め寄りによる追加オーダーに対し、きちんとした理由で対応が出来るようになります。オフショア開発が進むにつれて、避けて通れなくなるのがコストアップによる単金の値上げです。無駄な工数をなるべく省くためにもnanotyを活用し、円滑にプロジェクトを進めてみてはいかがでしょうか。

プロジェクトの進捗確認とコミュニケーション

一般的なオフショア開発の体制



nanotyを活用することで、日々の開発業務の中で生まれる疑問点や課題を発注元の日本企業と開発企業で共有し、解決していくことができます。

オフショア開発では、日本語を理解するブリッジSEや、日本の企業からはプロジェクトマネージャーとして現地に入っている社員が指示を出すため、現場の声や様子を日本国内と共有していくこともできます。

課題であった、要件や仕様の認識が大きくずれる前に解消できたり、日々の日報の中でコミュニケーションを取ることが出来るようになります。

毎日プロジェクトチームの行動が把握できる！？

The screenshot displays the nanoty interface. On the left is a navigation sidebar with icons for home, reports, team, goals, milestones, thanks, members, statistics, and settings. The main area is divided into three columns:

- Calendar:** Shows a calendar for August 2015. A callout box labeled 「社員の日報一覧」 (Employee Daily Report Overview) points to the calendar grid.
- Report List:** A vertical list of reports from team members like Nguyen Quang Huy, Trinh Minh Dung, and Nguyen Thi Kim. A callout box labeled 「いいね！」 「ファイト！」 (Like! Fight!) points to the Like and Fighting! buttons.
- Report Detail:** A detailed view of a report for 'Fix lỗi cho ClientPC'. It includes a summary, a task log with time slots (08:00-12:00, 14:00-17:30), and a total work time of 7 hours 30 minutes. Callouts include:
 - 「日報総括 1日の振り返りや問題点を提起」 (Daily Report Summary: Reviewing the day and raising issues).
 - 「日報明細 プロジェクトごと工数を記録」 (Daily Report Detail: Recording work hours by project).
 - 「日報にコメントを付ける」 (Adding comments to the daily report).

多言語対応

nanotyは「日本語」「英語」「ベトナム語」に対応しております。

日報総括

現地スタッフの様子をブリッジSEがまとめて報告することで、現地の様子を確認することができます。より細かな進捗状況は明細から確認できます。

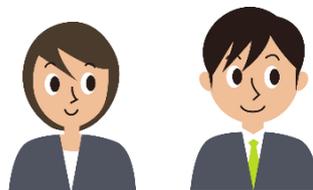
日報明細

何時から何時までどのプロジェクトで、どのような作業をしたか明記します。一緒にRedmine等のチケット番号を入力しておくと、どのフェーズの作業なのか確認しやすくなります。

複数のプロジェクト管理に最適！集計機能

1月の例

2種類の案件を同じプロジェクトメンバー（ラボ契約）で開発する場合



A案件

作業時間：10時間

B案件

作業時間：190時間



ラボ契約：50万円/月（200時間の作業）



ブリッジSE



現地プロジェクトチーム



「今月はB案件の作業を中心に開発をしてもらいましたよね！」



「本当だよな～おかげで納期に間に合いそうだよ。今月B案件の開発にどれくらい時間がかかっているかブリッジSEのナノさんに聞いてみよう」



「正確な数字は記録してませんので分かりませんが、だいたい7割か8割くらいはB案件の作業をしたと思いますよ」



「う～ん・・・細かな時間は分からないから、また今月もA案件と折半でいいか～ではラボ契約料の半額をB案件の開発費用にと・・・」

ちょっと待って！！本当にこれで大丈夫！？

プロジェクトを可視化。数値から見える**正確な開発工数**

nanotyであればプロジェクト別に時間の管理ができていますので、どのプロジェクトにどれくらい時間がかかっているのか確認できます。

案件別作業別工数(2015年07月01日~2015年07月31日)

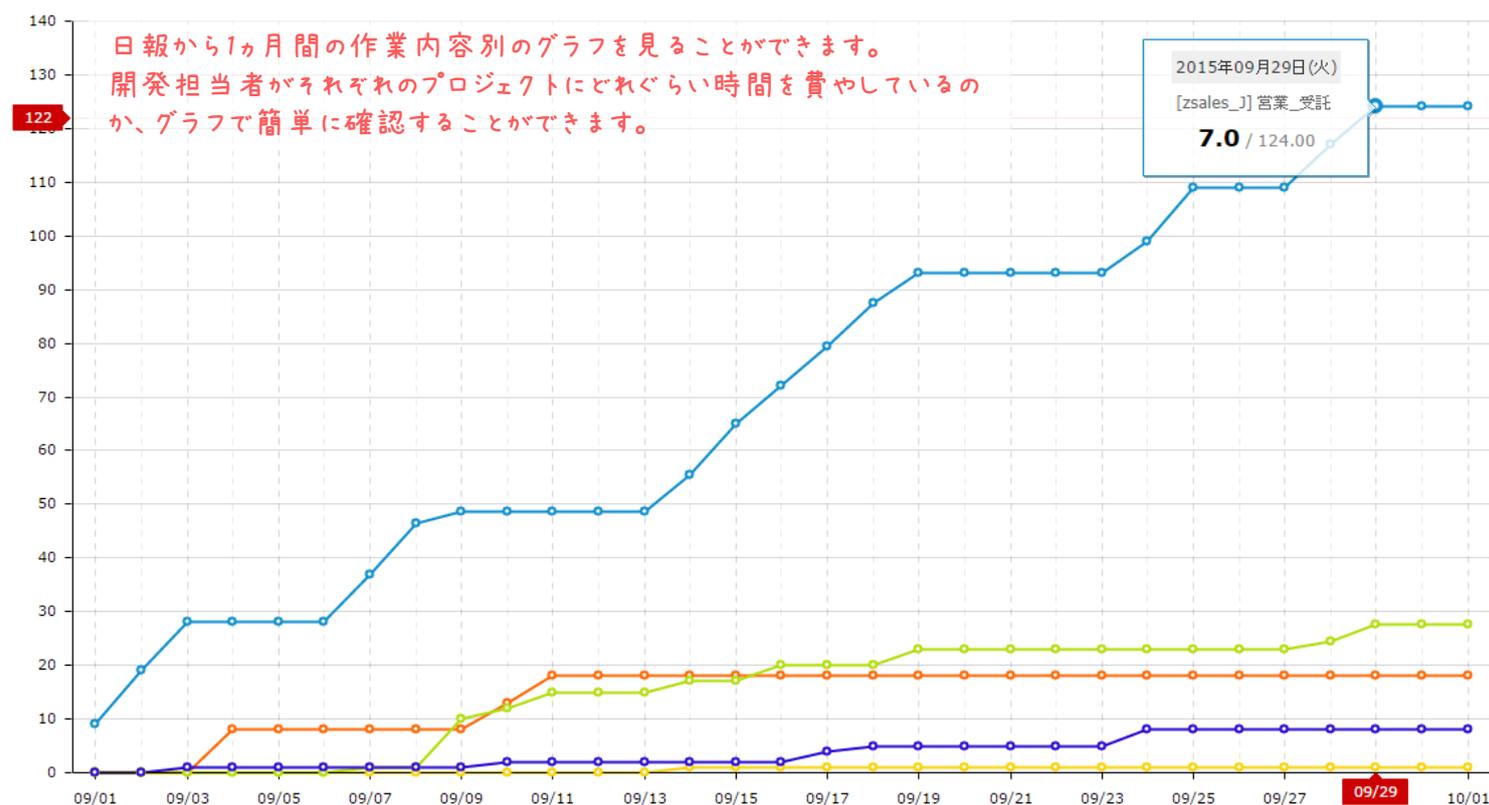
① 下書きの日報は含まれません。作業の数値をクリックすると、明細が表示されます。

案件コード	案件	設定なし	営業	研修・セミナー	会議	事務	工数(時間)
		0	3.0				3
0001	株式会社中村工業	0	9.0				9
0002	高橋物産株式会社	0	12.0				12
0003	スーパー大富士	0	13.0				13
0004	株式会社佐藤商事	0	8.0				11
0005	株式会社サンロフト	0	8.0		0	0	8
0006	株式会社ナノ商事	0	13.0		0	0	13
0010	研修・セミナー・勉強会	0	0		8.0	0	8
0011	社内業務	0	0		0	1.0	1
0012	社内会議	0	0		0	2.0	2
0016	営業活動(新規)	0	2.0		0	0	2

日付	時間	名前	明細
20150720	13:00~14:00	鈴木一朗 (営業)	株式会社 電話でシステムの見直し
20150722	09:00~12:00	佐藤大介 (営業)	株式会社 ホームページシステムの作り直し

9時間の内訳も確認できます。
誰がいつ何時間使ったか把握できます。
また、該当する日の日報も確認できます。

日別案件別集計グラフ



実績紹介

nanotyもオフショア開発から誕生したサービス

株式会社サンロフト

静岡県 従業員数:54名 業種:IT

静岡のWebサイト制作・システム開発会社。
Webサイトの企画・設計・デザイン・制作・運用、在庫管理・販売管理システム、ITサポートやパソコン講師の派遣など様々な事業に取り組んでいる企業です。



ベトナムとのオフショア開発で活用しています。

nanoty は隔週ごとにサービスをアップデートしていますが、その開発にベトナムのIT企業に協力いただいております。サンロフトでは企画・設計を担当し、ベトナムではプログラミングを担当する分業を行っており、俊敏かつ柔軟に対応できる体制で進めています。

この体制を立ち上げてからメールやチャット、ビデオ会議など様々な方法でのコミュニケーションを試してみましたが、これらのツールはどちらかという直近で確認したい情報のやりとりが中心となります。2週間のサイクルでリリースするためには、1日、1時間がとても大切なのですが、タスクが多いため、個々の課題が埋もれ見落とすことがありまし

た。

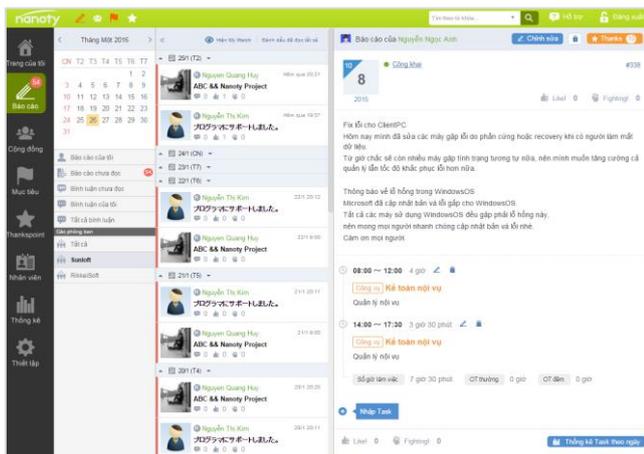
そこで、各個人が nanoty の日報を使って、1日をふりかえって報告してもらうようにしました。その日に感じた良かったこと、悪かったことをメンバーと共有し、どう改善していくかを一緒に考えるというのは、離れた拠点であっても一つのチームになっていく感覚を持つことができます。また、ひとりひとりが自ら考えて行動し、それでいてチームと強調し合うような自律的な体制を作るために、nanoty が役立っています。

ラボ型体制のリソース管理もできます。

海外とのオフショアでは、一定期間で人員や工数を確保するラボ型契約が主流です。あらかじめ優秀な人材を安価で確保して

おくことができ、プロジェクトのノウハウを蓄積できるメリットがあります。一方で定額のコストがかかりますから、しっかりした発注計画、リソース管理をしなければなりません。

nanoty では日々の工数管理と集計レポートが標準で提供されているため、期間を指定してリソース状況を分析することができます。サンロフトでは複数のプロジェクトでオフショアを利用していますが、人件費や外注費を案分して原価管理ができるようにして、コストを見ながら先のリソースを調整するのに役立っています。



nanotyのご利用について

ご利用料金

初期費用	0円
ご利用人数	10ユーザーから
データ保存量	1GB / 1ユーザー
データ保存期間	無期限
多言語機能	50,000円 0円

1ユーザーあたり
500円/月（税抜）

ただいまキャンペーン中につき、2016年3月31日までにお申込をされたお客様には、多言語機能を無償で提供させていただきます。この機会にぜひご検討ください。

導入までの流れ（3ステップ）



※無料体験期間から自動的に本稼働へ切り替わることはありません

① 14日間の無料体験版からスタート

nanotyのホームページより体験版にお申込みいただき、nanotyの環境をご用意いただきます。体験版のご利用期間は**14日間**となっております。

② 契約書の締結

弊社よりサービス利用申込書と利用規約を送付（メール）いたします。

③ 正式にご利用開始

体験版の環境をそのまま本番環境としてお使いいただけます。体験期間中にnanotyに設定した内容や、登録されている日報や記事はそのまま引き継がれます。



株式会社サンロフト

検索



14日間の無料体験申込も受付中！

所在地

〒425-0092 静岡県焼津市越後島385
TEL:054-626-3366 FAX:054-626-3371

ホームページ

<http://nanoty.net/>